

20年後の都市像を示す

都市計画マスタープランを策定



都市整備課市街地整備係 ☎0824-73-1173

市は、都市計画を効果的・効率的に進めていくために、将来のまちづくりの指針となる「庄原市都市計画マスタープラン」を策定しました。

このマスタープランでは、20年後の庄原市のあるべき姿、方向性を見据え、土地利用や交通体系、市街地の整備方針などを明らかにしています。また、都市づくりの理念を「げんぎとやすらぎ」のさとやま文化都市へのまち育として、市民と行政による協働のまちづくりを推進する方針を盛り込みました。

今後、具体的な都市計画の各事業は、このマスタープランが示す方針に沿って実施します。

※マスタープランの全文は、庄原市ホームページに掲載しています。また、都市整備課でも閲覧できます。

都市計画とは、土地の使い方や建物の建て方のルールをはじめ、まちづくりに必要な道路、公園、下水道などの施設計画などを総合的に定め、都市計画法に基づいて運用しています。このよう都市計画を定めることができる都市計画区域は、人口や交通量など都市の条件を勘案して、庄原・東城・西城地域の一部に指定されています。

都市づくりの基本姿勢

これからの都市づくりは、市の主体的な取り組みとともに、まちづくりの主役である市民の皆さんの役割がますます重要であり、市民活動や知識が活かされる取り組みが必要です。

この基本姿勢は、都市づくりの主体（担い手）、取り組みの方法についての基本的な考え方を示しています。

- 多様な担い手による協働の取り組みを進めます。
 - 各事業の計画段階から市民参加や情報公開を充実させていきます。
 - 市民や事業者、NPOや大学など、さまざまな主体の取り組みを支援していきます。
- 効率的・効果的な手法を活用した取り組みを進めます。
 - 観光、福祉、環境などの多分野との連携によって、総合的な取り組みを進めます。
 - 医療福祉、商業業務、教育文化など都市生活に必要な機能の役割分担に取り組みます。
- 蓄積された都市の資源を有効活用していきます。
 - これまでに蓄積された都市基盤施設を都市づくりに活かします。
 - 地域を育てた「里山」環境と調和した都市づくりに取り組みます。

都市づくりの目標

この目標は、目指そうとする都市の姿であり、これからの都市づくりに向けた施策展開の基本方針となるものです。

- 暮らし**
幅広い世代が安心して快適に暮らせるまちづくり
- 賑わい**
商工業と観光交流が育まれる賑わいと活気のあるまちづくり
- 環境**
都市を包み込み育ててきた、里山環境にやさしいまちづくり
- 協働**
パートナーシップによる協働のまちづくり

重点地区方針

特に課題となっている地区や、今後20年間で重点的に取り組むを進める地区を重点地区として取りまとめました。その一部を紹介します。

〔庄原地域〕

・ 備北丘陵公園北口周辺地区
・ 備北丘陵公園の北入口の整備に対応して、北入口前周辺地区は市中心部の案内やイベントなどの情報提供、市街地循環バスのバス停、観光客用駐車場、土産物店などの整備・誘導を進め、観光客を市中心部に誘引する情報・賑わい拠点の形成を図ります。



JR備後庄原駅周辺

市中心部

・ 自動車交通量が多い市中心部では、路地などの地域資源の活用なども図りながら歩行者ネットワークの整備を進め、安全な歩行者空間の形成を進めます。

ます。特に高齢者などの利用が多く見込まれる「JR備後庄原駅」市中心部「国道432号」間をパリアフリー重点整備区間に位置付け、安全な歩行者空間の確保を進めます。

・ 身近な公園が少ないため、コミュニティ形成の場、憩いの場となる公園の整備を進めます。

駅前地区

・ JR備後庄原駅周辺は、鉄道とバスの乗り換えが不便な状況であることから、駅前広場の整備により、鉄道・バス・タクシーが一層利用しやすい交通結節点の形成を進めます。

〔東城地域〕

歴史のまちなみ地区
・ 旧城下町の伝統的なまちなみを活かしたまちづくりが進行している「歴史のまちなみ地区」では、まちなみの保全・修復を進めるとともに、まちづくりを支援する電線類地中化や歩行空間などの都市基盤施設の整備を進めます。



歴史のまちなみ地区

〔西城地域〕

公共公益地区
・ 西城支所を中心とした公共公益施設が集積する地区は、隣接する低未利用地の整備と一体となって、都市計画道路三の原線を軸とした北部地域の生活拠点にふさわしい安全で利用しやすい公共公益施設地区の形成を進めます。



西城中心部

担当課長に聞く

都市整備課
課長
清水健治



今回のマスタープランは、合併に伴い庄原市としての一体性に配慮し、統一的な都市計画の運用を図るため策定したもので、新庄原市の都市づくりの大きな方向性を示したことになります。

現在、本市の都市づくりにおいては、市街地の活力低下や里山環境の荒廃など、さまざまな課題がありますが、今後はこのマスタープランの方針に沿って、個別の課題に対応した取り組みを行っていきます。また、懸案となっている都市計画道路や土地区画整理事業など長期未着手都市計画についても、事業の意義や効果の観点から見直しを行います。

重点地区方針は、庄原・西城・東城地域の策定委員の皆さんや支所関係者と共に地域の問題点や課題を出し合い、将来ビジョンを描く中で取り組み方針として策定したもので、新庄原市の都市づくりのためには特に必要なことだと思っています。

この計画が計画倒れすることのないよう、関係各課や市民の皆さんと連携しながら、目標の実現に向けて取り組んでいきたいと思います。